

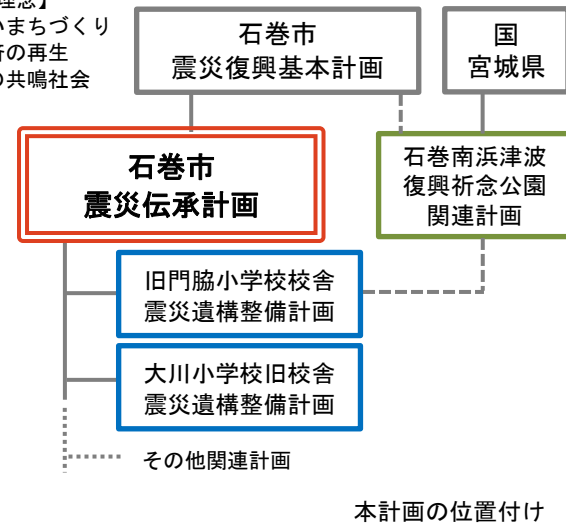
○震災伝承計画（案）の概要

1. 本計画の位置付けと役割

本計画は、「石巻市震災復興基本計画」の理念に基づき、重点プロジェクト「未来への伝承プロジェクト」に定めた内容について、その具体的な事業推進を支えるものです。また、「旧門脇小学校校舎震災遺構整備計画」、「大川小学校旧校舎震災遺構整備計画」及び「石巻南浜津波復興祈念公園」等今後策定される関連計画の上位に位置付けられるハード・ソフト両面に関わる総合的な震災伝承計画です。

【復興の基本理念】

- 1 災害に強いまちづくり
- 2 産業・経済の再生
- 3 絆と協働の共鳴社会づくり



2. 石巻市における震災伝承の現状と課題

- (1) 石巻市における震災伝承の現状
- (2) 石巻市における震災伝承上の課題

- ・ 収集した資料の利活用
- ・ 学習の質・機会・実施に係る土台の安定化
- ・ 情報発信基盤の整備と発信の充実
- ・ 慰霊・追悼の場の整備等事業具体化のための議論の推進
- ・ 震災伝承を支える拠点づくりとネットワークの形成
- ・ 伝承活動に関わる多様な主体を支える仕組みづくり

3. 震災伝承の基本的な考え方

東日本大震災の最大被災地である石巻市は、
大切な命を守るため、
今を生きる人、未来に生きる人、世界の人々へ、
震災で起きたこと、教訓、思いを伝えていきます

何のために（伝承の目的）

日本中、世界中で今後も大規模災害の発生が想定される中、自分と大切な人の命を守るため、また、命を守る行動につながる学びの機会を市内外の多くの人に広げるために伝えます。

誰に（伝承の対象）

今を生きる人と未来に生きる人、石巻市民と日本中、世界中の人々へ伝えていきます。

何を（伝承する内容）

広範囲にわたる被災地域とそれぞれに異なる被災状況、震災前の出来事、震災後の出来事、経験、思いなど、震災をめぐるたくさんの方のことをしっかりと伝えます。

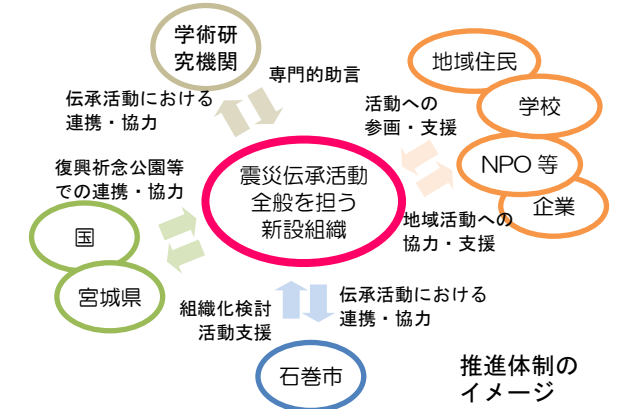
(2) 基本方針

- ① 継続的な資料収集と収集資料の利活用を推進します
- ② 震災（防災）に関する学習の機会を創出します
- ③ 国内外へ震災の経験と教訓を発信します
- ④ 慰霊・追悼の場を整備します
- ⑤ 伝承活動の場、学びの場を整備します
- ⑥ 持続的活動を支える推進体制を構築します

4. 震災伝承の実現化方策

(1) 推進体制の検討方針

将来にわたり震災を伝えていくため、震災伝承関連事業を継続的に担い支える専門性を持った組織体制を検討します。



(2) 実現化プログラム（案）

本計画に基づき、継続的に組織づくりや具体的施策等に関する検討を進めていきます。

(3) 具体的施策の方向性（案）

- ① 継続的な資料収集と収集資料の利活用推進
 - デジタル資料の収集・保存・利活用方針の検討
 - 被災資料の収集・保存・利活用方針の検討
- ② 震災（防災）学習のための教材等制作と学習機会の創出
 - 市民に向けた震災（防災）学習教材制作
 - 市内小中学校における防災教育の充実化
 - 市民の防災意識の向上策の検討
 - 教育旅行、視察等受け入れ体制構築に向けた検討
- ③ 国内外への震災の経験と教訓の発信
 - 震災（防災）関連情報を発信するプラットフォームの整備に向けた検討
 - 震災（防災）関連情報の国内外への積極的な発信
 - 既存施設を活用した来訪者向け情報発信強化策の検討
- ④ 慰霊・追悼の場の整備
 - 市内各地の慰霊碑の整備
 - 石巻南浜津波復興祈念公園内の慰霊・追悼の場の整備・管理運営
 - 大川小学校旧校舎付近の慰霊・追悼エリアの整備
 - 各種追悼行事の開催・運営
- ⑤ 伝承活動の場、学びの場の整備
 - 伝承拠点施設の整備・管理運営
 - 震災遺構の整備・管理運営
 - 石巻南浜津波復興祈念公園内の中核施設の管理運営
- ⑥ 持続的活動を支える組織・体制構築
 - これまでの震災伝承の取り組みを基盤とした新たな推進体制の検討